

---

# お手軽600字エッセイ その4

北原誠二

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

お手軽600字エッセイ その4

### 【Nコード】

N1772D

### 【作者名】

北原誠二

### 【あらすじ】

駅長さんのうちに入ったときのことです。ちょっとシリアスな話題です。考えたい時に読んでいただければ幸いです。

ふとしたことでお友達になった駅長さんのうちに遊びに呼ばれました。

部屋にはレールを薄く切って張ってある表彰状や鉄道グッズであふれた机、それに娘さんの写真。

お父さんに影響されたのか、娘さんも交通の仕事に携わって駅長さんも幸せそうです。

40年同じ会社に勤める。それも鉄道という規則にあふれた仕事です。

我々の時代では信じられないですね。

それを駅長さんにいうと。

「いや、俺だってつらいときがあったんだよ。」

「また、駅長さんだったら。好きな仕事をやってきて最後まで終われるの幸せじゃないですか。」

そう僕が言つと、寂しそうに駅長はつぶやきました。遠くを見ながら。

「飛び込みがあるからね。もう、運転手はいいや。」

最後にそういいました。寂しそうに。

飛び込み自殺、それは今は珍しいことではしれません。一番本人が悲しいのだと思うけれども。

結局、駅長さんはいろいろ苦しんで、運転手を辞めました。

他人まで苦しませる死に方はしないほうがいいと思います。

追い詰められたり、死にたくなるのは誰でも何回かは考えたことがあるはずですよ。

でも、ギリギリの線で踏みとどまってまたこちらの世界にかえって来ている人沢山います。

明日は誰にも分かりません。暗いと思えば暗くなるし、つらいと思えばつらくなります。

家族に迷惑をかけるのはある程度仕方ありませんが、好きな仕事に就き、夢を持って働いている人にまで迷惑をかけるのは罪だと思います。

みなさんはどう思われますか？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1772d/>

---

お手軽600字エッセイ その4

2010年10月10日06時39分発行